

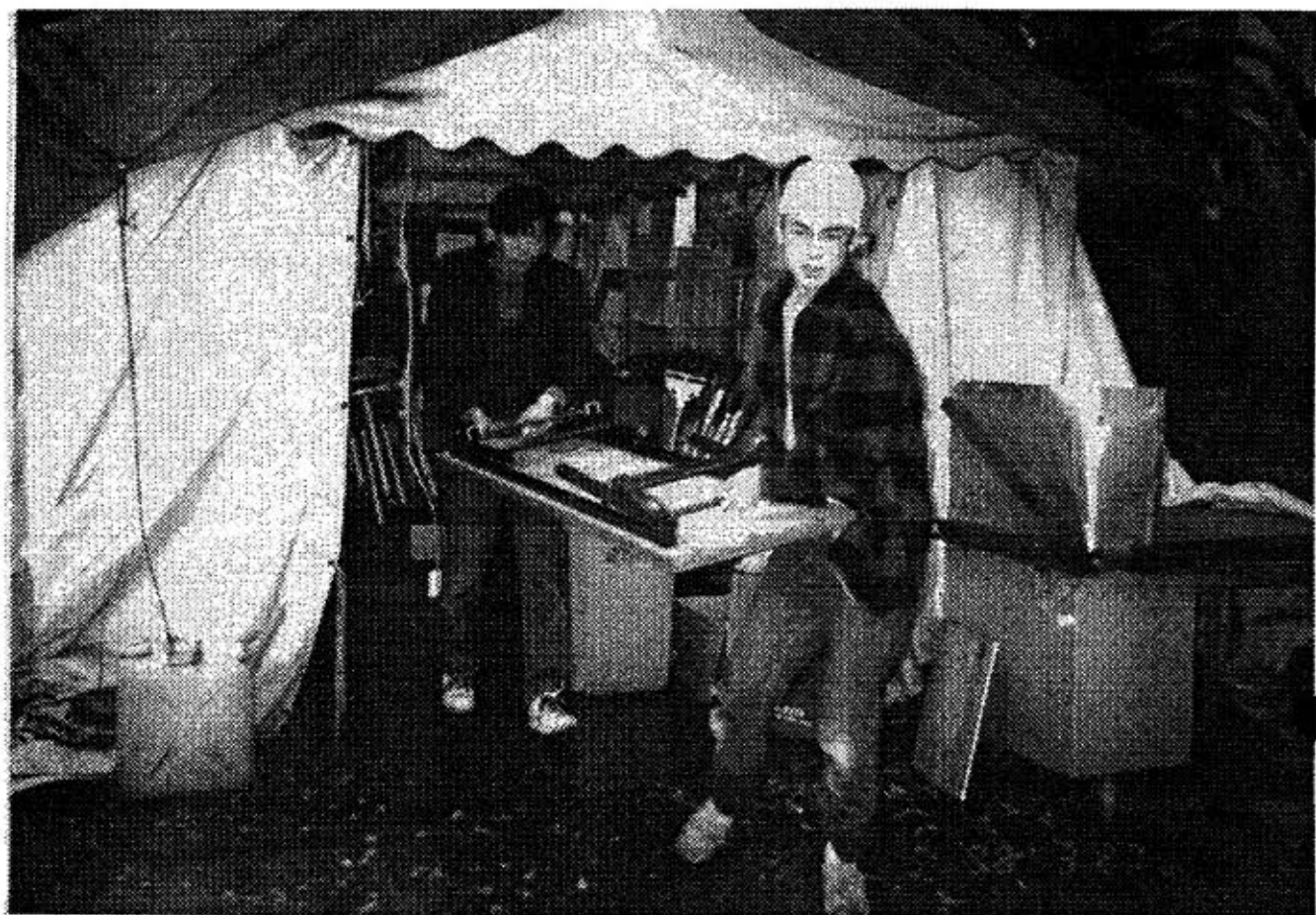
市民の助けあいを目指して

ぱらボラ

5月号
(通算第22号)

98.4.25

発行:東灘・地域助け合いネットワーク
TEL 078-843-4029 FAX 078-842-2907



中庭テントからの引っ越しの様子

ボランティア募集

ボランティアへの関心が薄れています。
ぜひ皆様のお力をお寄せください。

仮設住宅への支援

—状況に応じて仮設にコミュニケーションの場を—

さよなら「茶話やかタイム」

この三月末で、住民の仮設住宅から恒久住宅への引っ越しに伴い、平成八年の夏から約一年八ヵ月、六十回余り続けられてきた「茶話やかタイム」が終わった。この「茶話やかタイム」では、地域型仮設や小規模仮設の住民が、ふれあいルームに集まり、手芸やゲームをしたり、お茶やお菓子を食べながら話をしたりしていた。



活動日誌より

平成10年3月24日(火)

今日は最後の「茶話やかタイム」なので食事会をした。13名の方が参加した。福祉相談員さんのリードで、ボランティアも一緒に入り、歌を歌ったり、手遊びをして楽しく2時間近く過ごした。その後、食事をし最後のひとときを楽しんだ。帰りは、皆さん車のところまで送って下さって、握手をし涙される場面もあった。皆さん、いろいろなところに引っ越され、ばらばらになるが、こうして食事をしながらお話できるような機会がまた出来たらと思った。(参加ボランティア記)

三年間の軌跡

場所がなかったから
テントを持参して

平成七年春

見知らぬ人どうしが暮らし始めた仮設住宅に、コミュニケーションの場を提供し、互いに助け合う近所付き合いのきつかけつくり役立てればと移動集会所を始めた。



世話役の住人がいなかったから、地域型仮設へ

平成七年夏

高齢者、障害者が暮らす地域型仮設に開催の場所を移した。

地域型仮設に空き部屋が出来た

平成八年夏

テントから、地域型仮設の空き部屋を利用したふれあいルームに場所を移し「茶話やかタイム」となった。

仮設住宅から多くの人が去っていった

平成十年春

残された人達が仮設住宅を去る日まで、少しでも元気に楽しく過ごせるようにと。

ふれあいセンターを利用して昼食会を行うお手伝いをする「茶話やかダイニング」を始めた。

(四月二十日に、本庄仮設で第一回の「茶話やかダイニング」が行われた。その様子は、来月号でお知らせします。)

(上村光代)

皆さまのご支援ありがとうございました
98年3月21日から4月20日までに寄付をいただいた方たちです。

動氣会、小泉喜美恵、橋本よし子
安井久子、波方保子、村山メイ子
古賀良枝、鈴木明 (敬称略)

郵便振替

口座 01140-9-88648

名称 東灘・地域助け合いネットワーク

銀行振込

さくら銀行 甲南支店

普通口座 3994604

口座名義 東灘・地域助け合いネットワーク

代表 武田 純子

ボランティアどうし

手をつなぎ、

大きな輪で包みたい

小西シゲさんは一九七〇年生まれの九十歳。震災の年の三月から東灘区の本庄仮設に入居していた。当ネットワークとはその頃からの付き合いだが、今年から灘区の市営住宅に入居となった。その後、買い物や依頼があつたが住まいが東灘区外になつたため、灘区の寿ボランティアの姫野さんに引き続きお世話をお願いすることになった。小西さんは今どうしているのだろうか？本庄仮設でよくお話を聞かせてもらったボランティアと一緒に新居へ訪問することにした。

Q. 最近調子はどうですか？

『おなかの調子が悪かつたのであまり外に出ないようにしていたら、ごへ行くにも

大層になつてしまった。お医者さんが往診してくれるし、買い物はヘルパーさんをお願いしている。』

Q. ボランティアにはどんなことを望みますか？

『親身になつてほしいが、必要以上に迷惑をかけたくない。頼んだことだけをしてもらえたらよい。』

取材の途中姫野さんか



ら小西さんへ電話が入つた。楽しそうに話す小西さんが印象的だ。今、姫野さんは電話台の手配をしてくれているとのこと。小西さんが話していた通り、とても親身になつてくれているそう。姫野さんから預かつたパンジーの鉢植えを渡す。小西さんの笑顔を見て、ホッと一安心した。

今回はこのような形で引き継ぎがうまく行つたが、ボランティアは区単位で活動しているため、過去に心配なまま見送つたケースもある。ボランティア同士が手をつなぎ、こんな輪が広がるような態勢作りに努めたい。(住本)

ボランティア研修

5月の研修は未定です。
詳細については当ネットワークにお問い合わせください。

078-843-4029

茶話やかダイニング

仮設住宅に残った人たちがいっしょに楽しくすごせるように、ふれあいセンターで昼食会を行ないます

.....

開催日時=5月18日(月)

開催場所=本庄仮設

ふれあいセンター

意見交換会

開催日時=5月20日(水)

13時30分~

開催場所=ネットワーク事務所

毎月20日となります。日曜、祝日は翌日になります。たくさんの方の参加をお待ちしています。

5月のふれあいサロン

●ミニイベント

- 1 Dr. の健康講座
- 2 ききょう、またはあじさいの色紙
.....

開催場所=4ページのカレンダーで
確認してください

お問い合わせは当ネットワークまで



1998年5月

日

月

火

水

木

金

土

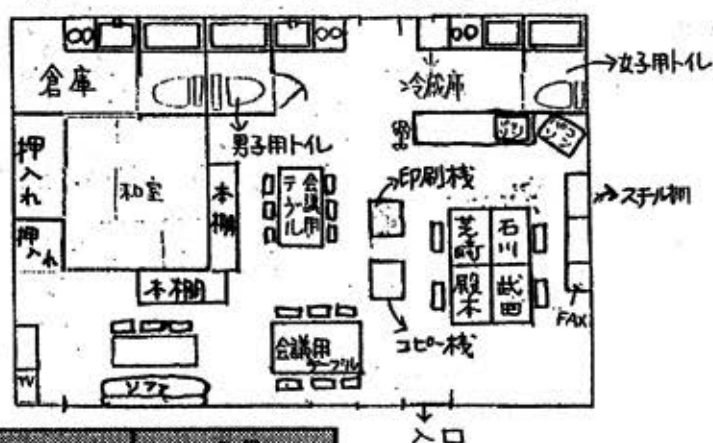
					1	2
3 	4 	5 	6	7 △市民連合助け合いネットワーク会議 △ふれあいサロンミーティング	8 △東灘区ボランティア連絡会	9 △運営委員会
10 	11 ●ふれあいサロン 浜中内科医院	12 ●ふれあいサロン 西崎眼科医院 河原医院	13 ●ふれあいサロン 成山クリニック	14 ●ふれあいサロン 川島クリニック	15 △東灘区地域ケアネットワーク会議	16
17 	18 △茶話やかダイニング 本庄仮設 ●ふれあいサロン 谷尻医院	19 ●ふれあいサロン 田中医院	20 △意見交換会 ●ふれあいサロン 深山医院	21 ●ふれあいサロン 神尾小児科	22 ●ふれあいサロン 横山医院	23
24 	25	26 ●ふれあいサロン 藤田外科	27 ●ふれあいサロン 有光医院	28	29 ●ふれあいサロン 高瀬内科	30
31 						

新事務初公開

えっ！これが仮設住宅なの？

陽あたり良好。交通至便。買い物便利。
三棟の壁をとりはすし広々とした室内。
テーブルも3ヶ所にセッティングされ
会議や報告書の記入もゆったりできる。
どうぞお気軽におこし下さい。

↑北側にアタフタ食堂(ここで昼食を食べます)



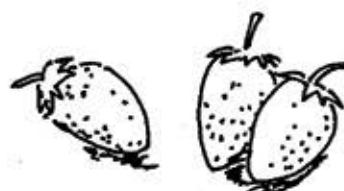
	サービス内容	3月
生活支援活動	お話し相手	18
	通院送迎・介助	19
	外出介助	12
	薬取り代行	4
	買物代行	12
	引っ越し手伝い・荷物運び・荒ごみ出し	1
	簡単な修理・修繕	0
	仮設巡回	147
コミュニティ支援活動	ふれあいセンター	0
	茶話やかタイム	5
	ふれあいサロン	14
	茶話やか交流会	1
	美術館散歩	1
	心のオアシス(手水仮設)	1
	その他のイベント	1
	ふれあいサロン準備・打ち合わせ	10
	茶話やかタイム準備・打ち合わせ	3
	交流会準備・打ち合わせ	1
情報提供活動	ボランティア研修	1
	「ばらボラ」発行(取材・編集・発送)	17
	パソコン事務処理	5
	外部会議出席	1
	講師・パネラー	0
その他	Vr送迎	23
	昼食準備	2
	その他	22
	サービス件数	321
	一日平均サービス件数	10
	参加ボランティア総数	487
	一日平均ボランティア数	16
	登録ボランティア数	18
	NW登録ボランティア総数	1,539

98年3月度より統計項目が変わりました。茶話やか交流会に関する項目と、各種準備・打ち合わせの復活です。

楽しかった
いちご狩り
仮設の人を連れていちご狩りに行ってきました。
疲れていたのでもう少しおっくうな気分で行きましたが、二郎いちごの本場でおいしい「いちご」と「空気」を腹いっぱい食べてきました。
おかげでもう一年長生きしそうです (殿本弘)

おわび

コンピューターがこわれ
はらボラの発行が遅れて申し訳ありません。
このページは急ぎ手書きにさせていただきました。



今月の 新規ボランティアは 18人 でした

吉田蘭子 西本美由紀 水谷恵子
中山賢一 有延美樹 浜田ルイ子
山田蘭子 浜村いづみ 水谷若菜
宮前里美 宇城まさ子 大島麻理恵
熊本恵美子 山本孝菜 松浦久美子
渡部裕美 八幡順子 中並由美

(敬称略)

体験ボランティアの声

「ボランティアをする」ということは、口でいう程簡単なものではないということが分かりました。ラジオやテレビでは得ることができない震災時のたくさんの情報を得ることができました。仮設の人達の話にはとても気持ちがこもっていて、すごく胸にジーンとききました。みんなとても親切で安心しました。(山本孝菜)

新潟県上越市立城北中学校の7人の生徒さんが修学旅行の自由時間をさいて来てくれました

東灘・地域助け合いネットワーク
〒658-0053 神戸市東灘区住吉
宮町3丁目4 住吉公園仮設 21-7

TEL 078-843-4029

FAX 078-842-2907

e-mail

tasukeai@mx.meshnet.or.jp

http://www1.meshnet.or.jp/

~tasukeai/

どんな人? どんな人?

はしもとえみこ
橋本恵美子さん
神戸市東灘区在住



「ボランティア団体でも企業でも、活動を支える人々のやる気が素晴らしい活動を生みだすのですね」

便利なのもよかった。

「来てみたら、テント張りの事務所でしょ。身近に感じて嬉しかった。」

以来、このテントで進んで他のボランティアの為に昼食作りをかって出るようになった。

「料理は人の気持ちを豊かにするでしょ。人間形成にも大切だし。」おいしい、栄養のバランスが良い、安価の三拍子を満たすメニューをと、レシピ持参で全力投球する。

「ほんの短い一生に巡り会えた自然、ひと、動物、植物なのだから、それぞれの力になりあえるように」と思う。

小学三年生の時から六年生までの四年間、クラスメイトと小遣いを出し合って、募金活動を続け、県からのじぎく賞を貰った。ドイツに一年間滞在したことがあり、その折にドイツの青少年達がボランティアとして活躍している姿に感銘を受けた経験も今の活動につながる。全てに積極的に取り組む姿勢が印象的な人である。

(小林)

編集後記

- 新事務所では息子が遊べる部屋ができました。赤ちゃん連れのボランティアさんも1度来てみませんか(住本有希子)
- 来春はどこでむかえる新事務所(上村光代)
- 花見に行こうとするとなぜかいつも雨。結局雨の中、大阪城公園で花見を決行したものの、空しいだけでした。(小林里美)
- 新事務所と中庭とどちらのほうが涼しいのでしょうか。(竹内克仁)